

名門ベルリン・フィルの精鋭たちが集結！

ベルリン・バロック・ゾリステン

2024年9月20日(金) 午後7時開演(午後6時15分開場)

武蔵野市民文化会館 大ホール チケット発売中

料金(全席指定) | 一般: 6500円 アルテ友の会: 5500円



【プログラム】

J.S.バッハ: ヴァイオリン協奏曲第2番 BWV1042

J.S.バッハ: 「音楽のささげもの」 BWV1079 より

ヴィヴァルディ: 「調和の靈感」より ほか

ベルリン・フィル元第一コンサートマスターのR.クスマウ
ルが、ベルリン・フィルの首席奏者たちを集め発足！ドイツ・
グラモフォンから発売したCDはグラミー賞を受賞。ベルリ
ン・フィルのエッセンスが濃密に染み込んだ、アンサンブルの
最高峰！



日本民謡×ラテンリズムで、民謡の新境地を切り開く！

民謡クルセイダース

2024年8月4日(日) 午後4時開演(午後3時15分開場)

武蔵野市民文化会館 大ホール チケット発売中

料金(全席指定) | 一般: 2800円 アルテ友の会: 2500円
25歳以下: 1000円

ソーラン節、会津磐梯山、佐渡おけさ、串本節…山、海、田
んぼなどでかつて謡われた農民のバイブルソング日本民謡が、
ラテン音楽などのダンスミュージックと融合し、新たに再生！

イギー・ポップがお気に入りのバンドに挙げ、ライ・クーダ
ーは「これまで見た中で最高のバンド」と大絶賛！世界15カ
国以上の音楽フェスティバルを席卷中の民謡クルセイダースが、
武蔵野の夏を踊らせる！ゲストにはDJの俵山脈が登場！



【アーティストプロフィール】かつて戦後間もない頃、偉大なる先輩—東京キューバンボーイズやノーチェ・クバーナが大志を抱き試みた日本民謡とラ
テン・リズムの融合を21世紀に再生させる「民謡クルセイダース」。東京西部、米軍横田基地のある街『福生』在住のギタリスト田中克海(たなかかつ
み)と民謡歌手フレディ塚本を中心に2011年結成。失われた音楽『日本民謡』をもう一度「民の歌」としてよみがえらせるため、カリビアン、ラテン、
アフロ、アジアなどさまざまなダンスミュージックと日本民謡との融合を試み、2017年、1st Album『Echoes of Japan』を完成。2019年の海外リリース
以降、コロンビア、ヨーロッパツアーのほか、オーストラリア、ニュージーランドのフェス WOMAD への出演も成功をおさめ、国内外から高い評価
を得ている。

武蔵野市民文化会館

〒180-0006 武蔵野市中町3-9-11

■チケットのお申し込み

TEL **0422-54-2011**

*インターネットからも申し込みできます。

*電話、窓口予約の場合、アルテ友の会に同時入
会可能です(年会費1000円)。インターネット
予約では同時入会できません。

■チケット取り扱い窓口

武蔵野市民文化会館／武蔵野芸能
劇場／武蔵野公会堂／武蔵野ス
ィングホール／吉祥寺シアター※

※吉祥寺シアターは2024年7月31日
まで休館



ホームページ



X (旧 Twitter)



Facebook

*出演者、内容はやむを得ず変更となることが
あります。最新の公演情報については事業団
のホームページをご覧ください。

*武蔵野市民文化会館、吉祥寺美術館、吉祥寺シアターなど、市内の文化施設は(公財)武蔵野文化生涯学習事業団が管理、運営しています。

収蔵品“花と果物”×絵本作家・荒井真紀＝かんさつのじかん

2024年7月27日(土)～9月1日(日)

休館日：7月31日(水)、8月28日(水)

主催：武蔵野市立吉祥寺美術館（公財）武蔵野文化生涯学習事業団

協力：金の星社、小学館、福音館書店

絵本作家・^{あら い ま き}荒井真紀（1965-）の名前が一躍有名になったのは、2017年の「プラチスラバ世界絵本原画展」にて、『たんぽぽ』（金の星社・2015）が「金のりんご賞」を受賞した瞬間からでしょう。“花”や“果物”をテーマに、科学的な視点を用いて美しい細密画で展開する“絵本”は、子どもたちに植物や食物を観察することの楽しさを存分に伝えてくれます。ひとつの場面を完成させるまで、約1カ月かけて丹念に描く、妥協を許さない自然観察への姿勢、加えて生命を尊ぶ優しさに満ちた眼差し、美に対する鋭い感性が相まって、初めて荒井真紀のノンフィクション絵本は誕生するのです。

当館の収蔵品の中には、“花”や“果物”をモチーフに描かれた作品も多く、萩原英雄（1913-2007）をはじめ、^{はまぐちようた}浜口陽三（1909-2000）、^{はぎわらひでお}萩原英（1913-2007）、^{なが た しゆんすい}永田春水（1889-1970）、^{やま きた じろう た}山喜多二郎太（1897-1965）、^{か やま しろう}加山四郎（1900-1972）、^{なが さわ}永沢まこと（1936-2022）など日本画、油彩画、イラストレーションと多岐にわたります。なお本展では、修復を終えたばかりの日本画家・^{こばたけ ていこ}小畠鼎子（1898-1964）の作品《盛夏》《梨栽培》（いずれも制作年不詳、紙本着色、二曲屏風）を初披露する予定。

夏休みの企画展となる、収蔵品と絵本作家・荒井真紀とのコラボ展示のテーマは“かんさつ”。荒井の絵本原画の解説には、植物観察家・^{すず きじゆん}鈴木純（1986-）の着眼点も加わります。会場で展示作品と向き合うことで、「観察の楽しさ」を知った来館者の皆さんが、美術館の外に出た後、次は屋外やご家庭で、実際に花や野菜、果物の“かんさつ”を楽しんでいただければ幸いです。



左から『ひまわり』（文・絵：荒井真紀／金の星社／2013年）
『いちご』（作：荒井真紀／小学館／2020年）



『たんぽぽ』（文・絵：荒井真紀／金の星社／2015年）



永沢まこと《ひまわり畑》（1992年／リトグラフ、紙）



武蔵野市立吉祥寺美術館

開館時間 午前10時～午後7時30分

休館日 毎月最終水曜日（祝日の場合は翌日）
年末年始、展示替えおよび特別整理期間

入館料 一般300円／中高生100円
（小学生以下・65歳以上・障害者は無料）

交通案内 JR・京王井の頭線「吉祥寺駅」下車 北口より徒歩3分



ホームページ



X (旧 Twitter)



Facebook

〒180-0004 武蔵野市吉祥寺本町1-8-16
コピス吉祥寺A館7階

TEL：0422-22-0385